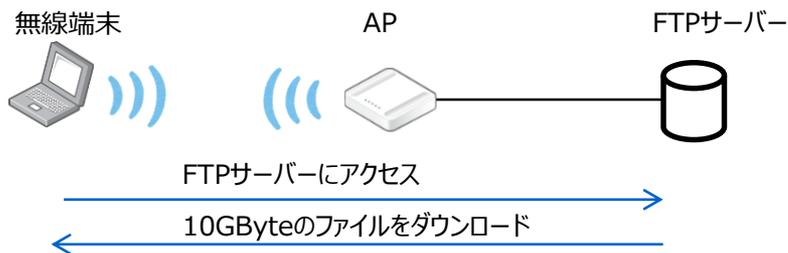


無線通信が遅い（スループット低下）

対処ポイント 無線AP 無線端末 無線LAN環境



■ レガシーレート

IEEE802.11a/b/gの無線規格において、接続可能な通信速度を設定することができます。

■ 状況

通信速度が遅い無線端末の接続を抑止するため、無線APのレガシーレートにて、36Mbps未満の無線端末の接続を抑止する設定としました。

無線端末よりFTPサーバーにアクセスし10GBのデータをダウンロードしたところ、レガシーレートセットの36Mbps未満を接続しない状態では、スループットが約1Mbpsとなりました。

しかし、24Mbps以上を接続する設定に変更したところ、スループットが約80Mbpsと向上しました。



次ページ

無線通信が遅い（スループット低下）

対処ポイント 無線AP 無線端末 無線LAN環境

■ 原因

36Mbps未満を使用しない（54・48・36の使用可能）場合、通常、24Mbpsもしくはそれ以下のレートで通信すべき環境においても、36Mbpsのレートで通信する為、送受信エラーなどが頻繁に発生し、さらに再送パケットが増えたことから、通信レートが著しく低下したことが考えられます。

■ 対応策

利用環境に応じたレガシーレートを設定しましょう。
また、電波状況を確認するために調査します。

■ 対処ポイント

（無線AP）

各種製品のリファレンスマニュアルから「無線」の設定を確認します。
パラメーター項目より、レガシーレートセットにて、IEEE802.11a/b/gの通信レートを設定します。

（無線LAN環境）

最適な電波利用状況を得るため、無線サイトサーベイを実施します。



前ページ